TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

受け取って分かち合う価値のある福音
ローマの信徒への手紙 1:16-17

2022 年 12 月 31 日&2023 年 1 月1日
ジョエル牧師

ご挨拶と祈りのポイント

TBC 渋谷の皆さん、スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、TBC 三郷の皆さん、そして日本、世界の皆さん、明けましておめでとうございます！

今週末、TBC ウェスト・トウキョウの皆さんは、TBC 渋谷の礼拝に参加されることをお勧めしています。TBC ウェスト・トウキョウは、現地での礼拝はありません。1 月 8 日(日)から、現地での礼拝が再開されます。
オンサイトやオンラインで参加されているゲストの方々を歓迎します。
今週末はジェシー牧師のメッセージが予定されていました。しかし、残念なことに、子供の一人が新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出てしまいました。症状は軽いです。ジェシー牧師と家族は隔離しているため、今週末は自宅で礼拝をします。回復と家族の守りのためにお祈りください。
新型コロナウイルス感染症やその他の病気で体調を崩している方々のために祈りましょう。また、大切な人を失い、悲しんでいる方々のために祈りましょう。

では祈りましょう。

はじめに

最近、誰かに何かを分かち合ったり共有したりしたものはありましたか。それは家族、友人、同僚、あるいは見知らぬ人とでも結構です。物理的なものでも形のないものでもよいです。情報や、記事かもしれません。ビジネスやミニストリーのアイデアかもしれません。また、あなたの時間かもしれません。それは何だったでしょうか。それを受取った人の気持ち、あなたが分かち合ったり共有したりした後の気持ちを覚えていますか。
数週間前、私は TBC のスタッフ 2 人と一緒に、公園にいるホームレスの男性の方のサプライズ誕生日会をしました。彼の年齢と誕生日を知っていたので、一緒にお祝いしようと思ったのです。お弁当とケーキを買って行きました。私たちもお弁当を持参し、一時間ほど彼と時間を過ごして話をしました。とてもシンプルな会でした。彼の満面の笑みを見て、私たちは喜びでいっぱいになりました。彼はまだ信者ではありませんので、最後に、私たちは彼のために祈りました。
どのように説明すれば良いかわかりませんが、特に愛を持って快く誰かに何かを共有する時、素晴らしいことが起きます。
ただ言わせてください。受取って分かち合う価値のあるものは一つしかありません。それは、イエス・キリストの福音です。

ローマ 1:16-17
「私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。神の義が、福音の内に、真実により信仰へと啓示されているからです。『正しい者は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです。」

このメッセージでは、次のことを見ていきたいと思います。
- 「福音を恥としない」ことに関する 2 つの質問
- 「福音を恥としない」2 つの理由

A. 「福音を恥としない」ことに関する 2 つの質問

1. 福音とは何でしょうか。

福音のギリシャ語は「evangelion」です。簡単に言うと「良い知らせ」という意味です。それは御言葉と御子イエス・キリストを通して私たちに開示された、神の福音、良い知らせのことです。

福音とは何でしょうか。この聖書箇所の周辺の節を読んでみましょう。著者である使徒パウロが、福音という言葉をどういう意味で使っているのか、文脈から理解することができます。ローマの信徒への手紙の最初の 7 節は、福音の肉、趣旨、そして本質を提示しています。

キリスト・イエスの僕、使徒として召され、神の福音のために選び出されたパウロから――この福音は、神が聖書の中で預言者を通してあらかじめ約束されたものであり、御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、聖なる霊によれば死者の中からの復活によって力ある神の子と定められました。この方が、私たちの主イエス・キリストです。私たちは、この方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。あなたがたも異邦人の中にあって、召されてイエス・キリストのものとなったのです。―― ローマにいる、神に愛され、聖なる者として召されたすべての人たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。
（ローマ 1:1-7）

この箇所から 4 つのことが観察できます。

a）第一に、私たちが話している福音は、神の福音についてです。言い換えれば、聖書による福音です。この福音は、神ご自身から生まれたものです。この福音をもたらすことは、時の初めからの神のご計画でした。この福音は、パウロの考えでも、他の使徒たちの考えでもありません。この福音は神から来たものであり、神の福音なのです。

b）第二に、福音はすべて、肉体をもって来られ、死んでよみがえられた神の子、イエス・キリストに関するものです。イエス・キリスト以外に焦点を当てた福音は正しい福音ではありません。

c）第三に、イエス・キリストを通して、人は神に愛され、聖徒と呼ばれます。もしあなたがイエス・キリストに従う者なら、それが今のあなたのアイデンティティです。神に愛され、聖徒と呼ばれる人、つまり「神に属し、神の聖別されている」という意味です。

d）第四に、イエス・キリストを通して、この福音を他の人に伝えるための恵みと権威を受けるのです。つまり信仰による従順さを与えられ、他の人もまた信じ、神に栄光を帰すのです。

2. 「福音を恥としない」とはどういう意味でしょうか。

「恥じる」という言葉は、「侮辱をうける」又は「汚名をもたらす」という意味があります。人が何かに、あるいは誰かに信頼を置いて、その何かに、あるいは誰かに失望させられた時、その人は屈辱を経験します。その人は恥じをかくことになります。

パウロが「私は福音を恥としません」と言うのは、福音に全ての信頼を置いているからです。言い換えれば、福音に対して彼が信頼を置くことは見当違いなことではないということです。彼は福音を伝えても恥じることはないと確信しているのです。

同じように、私たちもパウロがしたように、福音に信頼を置くことができます。私たちは福音を宣べ伝えるのに、恐れを抱くことなく、むしろ勇気を持つことができます。なぜなら、**ローマの信徒への手紙10章11節**であるように**「聖書には、『主を信じる者は、誰も恥を受けることがない』と書いてあります。」**

私の人生において、必ずしもそうでなかったことは認めます。時々、福音を伝える際に大胆さに欠け、葛藤することがあります。この問題の根本的な原因は、福音に対する私の自信のなさだと思います。だから、もしあなたも同じ経験をしているなら、私があなたのために祈っているように、私のためにも祈ってください。私自身もこのメッセージをとても必要としています。

12月から、毎月1回(基本的に第1日曜日の礼拝後に)、TBCウェスト・トウキョウの兄弟姉妹は、小さな一歩として地域社会への奉仕活動を始めて、機会ごとにプレイヤー・ウォーク、トラクトの配布、個人的に福音を伝えたりしています。彼らの大胆さと神の御言葉への従順さに、大きく刺激されて励ましを受けています。

B.「福音を恥としない」2つの理由

1. 福音は救いをもたらす神の力です。

「私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。」(ローマ1:16)

この「力」という言葉は、ギリシャ語の「dynamus」という言葉から翻訳されたもので、そこから英語の「dynamic」という言葉が来ています。

イエスを死からよみがえらせた神の力は、人々を罪から救う力と同じものです。それは、人々を罪から解放するために働いている力と同じ力です。この力こそ、人々を、そしてあなたと私を、もう一つの力である罪の力から解放することができる唯一の力なのです。

パウロは、ローマの信徒への手紙1章の後半で、人々の生活における罪のさまざまな表れ方を明らかにしています。
・不義によって真理を妨げる(18節)
・神として崇めることも、感謝することもしない(21節)
・自分では知恵ある者と称しながら愚かになった(22節)
・不滅(死に至らない、永遠の)の神の栄光、滅ぶべき(死に至る、はかない)人間や鳥や獣や地を這うものなどに似せた像と取り替えた(23節)
・性的不道徳(聖書が定義する婚外の性行為)(24節)
・神の真理を偽りに替えた(25節)
・造り主の代わりに造られた物を拝んでこれに仕えた(25節)
・同性間[女性と女性、男性と男性]の性行為を実践すること(26節、27節)
・あらゆる不正、邪悪、貪欲、悪意に満ち、妬み、殺意、争い、欺き、邪念に溢れ、陰口を叩き、悪口を言い、神を憎み、傲慢になり、思い上がり、見栄を張り、悪事をたくらみ、親に逆らい、無分別、身勝手、薄情、無慈悲になった(29節、30節、31節)
・自分と同じように上記のことを実践している人を是認する(32節)

例:罪と貪欲の表現

トルストイが1886年に書いた物語に、パホームという名の男がいます。彼は土地に救いを求めるほどに土地を愛しています。「もし、私に土地がたくさんあれば悪魔を恐れることもない」と言います。それを聞いた悪魔は、パホームに土地を購入する機会が訪れるように仕向けます。

生活は質素ですが広大な土地を持つバシキール人という人たちがいます。パホームはその人たちのところへ行き、土地を買いたいと交渉します。条件は大変良いものでした。必要なのは1,000ルーブルだけです(現在の1,000ルーブルは14ドルです)。この金額で、日の出から日没まで、一日に歩き回れるだけの土地を所有することができるのです。もしその日の日没までに出発点に戻れば、歩いて回った土地のすべてを手に入れることができます。しかし、もし出発点に戻らなければ、土地は手に入らず、お金も失います。

そこで彼は、自分の進展が分かるように鋤(すき)を使って跡をつけて、ワクワクしながら歩き始めます。輪を閉じようと思うたびに、彼の目には、美しい草原と小川、高い木々が飛び込んでくるのです。そして、そのすべてを手に入れたいと思います。輪はどんどん大きくなっていき、気がつくと、出発点から遠く離れてしまっていることに気が付きます。もう日が暮れます。彼は戻ろうとしてパニックに陥り、全速力で走ることにしました。今までで一番長く、速いスピードで走りました。彼は、自分が包囲した土地を所有することを決めていました。疲れることなど気にしませんでした。

ちょうど日没直前にパホームは出発点に戻りました。パキシール人は彼のために喜び祝いました。しかし、パホームは心臓発作を起こし、崩れ倒れて死んでしまったので聞こえませんでした。彼の使用人は僅か6フィートの一般的な墓に彼を埋葬しました。そのため、この物語の題名は「人にはどれほどの土地がいるか」なのです。

キリストにある兄弟姉妹、そして友達の皆さん、あなたにとっての「土地」は何ですか。自分の救いのために堅く信頼しているものは何ですか。それからあなたを解放するためには何が必要ですか。神の福音が必要になります。なぜなら福音は神の力だからです。神の福音以外のどんな力も、あなたを解放させることはできません。

「福音は、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。」(ローマ1:16b) この福音はすべての人のためのものです。国籍、社会的地位、経済的地位、霊的地位にかかわらず、ただ信じるならば、あなたの人生における罪の力の強い支配から解放されます。

2. 福音の内に、神の義が啓示されます。

なぜ、福音を恥としないのでしょうか。もう一つの理由は、**17節**にあります。

神の義が、福音の内に、真実により信仰へと啓示されているからです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

聖書カウンセラーであり、牧師でもあるジョー・ミラー博士は、「神の属性」という記事の中で、「義」とは、「まっすぐであること、また道徳的な意味では、正しくあること、倫理や道徳の基準に適合していること、正しいことをし、期待通りの義務を果たすこと、なすべきことに従って行動すること」と記しています。神の聖性は、神自身の道徳的特性、要求、性質、意志と一致するものとして、神を区別しています。ですから、聖書が「神は正しいことをされる」と宣言する時、神はご自分の完全性に従って忠実に存在し、ご自分に基づく正義の最高原理に従って行動されることを断言しているに過ぎません。したがって、神の全て、神が命令すること、神が

承認すること、神が福音においてキリストを通して提供すること、そして神が行うことはすべて正しいのです(ローマ 1:16-17)。神の義、愛、恵み、憐れみは、決して神の正義と矛盾しません。なぜなら、神のすべての属性は、神の性質と性格の主要な属性として、神の聖性と義の中に一体化しているからです。(詩篇 11:7、ヨハネ 17:25)。

簡単に言うと、神は正しいので、神があなたに指示すること、神があなたに要求すること、神が承認すること、神があなたに与えること、神があなたに報いることはすべて正しいのです。

しかし、問題は、神があなたに指示する全てを、出来ないし、しません。神があなたに要求する全てを、出来ないし、満たすことはできません。神が承認する全てを、出来ないし、同意しません。神があなたに与える全てを、感謝出来ないし、しません。神があなたに報いる全てを、受取るに値するには何もできないし、受けるに値するようになれません。

ですから、福音において、イエス・キリストを通して、あなたの「できない、しない」にもかかわらず、すでに信者であるなら、信仰によって義と宣言されています。そして、あなたは今日でもキリストを信じるなら、信仰によって義と宣言されます。**17節**の後半にあるように、**「正しい者は信仰によって生きる」**のです。

福音を恥じてはいけない 2 つの理由とは何でしょうか。
・福音は救いをもたらす神の力です。
・福音の内に、神の義が啓示されます。

まとめ

旧約聖書の列王記下 6 章と 7 章では、預言者エリシャの時代に、イスラエルの北部のサマリアという町で深刻な飢饉が起こりました。同時に、この地はイスラエルの敵であるアラム人の支配下にありました。

ロバの頭 1 個が銀 34 オンス(現在の約 310 米ドル)、鳩の糞カップ 1 杯が銀 2 オンス(現在の約 20 米ドル)で売られるほどの大飢饉でした。また、信じられないようなことがおこりました。二人の女性が自分の息子たちを食べることに同意しました。二人が最初の女性の息子を食べた後、二番目の女性が自分の息子を隠して、食べられないようにしたのです。

さて、門の入り口には、規定の病を患う4人の男がいて、互いに言った。「どうして私たちは、死ぬまでここに座っていなければならないのだ。町に入ろうと言ってみたところで、町は食糧不足で、私たちはそこで死ぬだけだろう。しかしここに座っていても死ぬだけだ。それならいっそ、アラムの陣営に投降しよう。もしあの連中が私たちを生かしてくれるなら生き延びることができるだろう。もし私たちを殺すなら、死ぬまでのことだ。」(列王記下 7:3-4)

そこで、この4人は立ち上がって、アラム人の陣営に行きました。彼らが陣営の端に着いた時、陣営に誰もいないことに気づきます。アラム人によって放棄されたのです。陣営はそのままでした。彼らは天幕の中に入って食べたり飲んだりします。銀、金、衣類を拾い集め、もう一つの天幕で同じことをします。**「彼らは互いに言った。『こんなことをしていてはいけない。今日という日は良い知らせの日なのだ。黙っていて、明け方までぐずぐずしていたら、罰を受けることになるだろう。さあ、今すぐ王家の人々へ知らせに行こう。』」(列王記下 7:9)**

なぜアラム人が逃げて陣営を放棄したか知っていますか。
「主が、車の響き、馬のいななき、また大軍のどよめきをアラムの陣営に響き渡らせたので、彼らは、「イスラエルの王が我々を攻めるため、ヘト人の王たちやエジプトの王たちを雇ったのだ」と互いに言って、(列王記下 7:6)
四人の病人を、そして次第にサマリアの人々を、恵み深く養われたのは主なのです。

兄弟姉妹、友達の皆さん、私たちが受け取ったものは、分かち合う価値があります。それは福音です!私たちがいる状態は、物語の中の 4 人の状態よりもはるかに悪いものでした。私の心にも、あなたの心にもある罪という癌のために、私たちは神から永遠に離れて死ぬ運命にありました。私たちがそこから癒され、解放されるためには、まさに神の御子の命が必要でした。

私たちはこれからどうすればいいのでしょうか。この 4 人が規定の病(重い皮膚病)を患っていたにもかかわらず、恥じることなく良い知らせを伝えました。私たちも恥じてはなりません。私たちも、霊的飢饉の中にいる瀕死の人々に、受け取って分かち合う価値のあるこの福音を伝えて行きませんか?

宣教師の D.T.ナイルズは、「福音を伝えるとは、一人の乞食が他の乞食に食べ物がある場所を教えることだ」と言ったことがあります。

まだイエス・キリストを信じていない方がいれば、どうか私に話す機会をください。今日、イエス・キリストを信じてください。

今、あなたは何をしなければならないのでしょうか。
1)自分が罪人であることを認める。
2)進んで自分の罪を告白し、悔い改める。
3)神の子イエス・キリストがあなたのために死に、死からよみがえったことを信じる。
4)祈りによって、イエス・キリストを招き入れ、あなたの人生の主とする。

では、信じたいと思う方は、次の祈りを心の中で祈ってください。

「親愛なる神よ、私を愛してくださりありがとうございます。私は罪人であり、あなたの赦しが必要だと知っています。私は自分の罪から立ち直りたいのです。どうかお赦しください。あなたの御子イエス・キリストが私のために死に、死からよみがえったことを信じます。今、イエスを私の心と人生にお招きします。あなたを救い主として信頼し、あなたを主として従いたいと思います。アーメン」

決心をされた方はどうぞ前においでください。そして、あなたの決断を皆さんと分かち合ってください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

★クラス 201
クリスチャンとして成長する
1月22日（日）13：00～17：00
https://t-b-c.us/classes

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0123jp

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月1回～土曜日16時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後19時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月1回～土曜日16時～
TBCに来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORDが使える女性を募集しています。英語力不要